

ふりかえりプリント 10月第1週②

答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A 数と計算

① 計算をしましょう。

$$29 \div 4 = \boxed{}$$

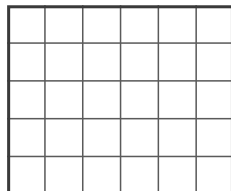
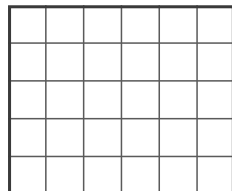
$$41 \div 6 = \boxed{}$$

② 6482を四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。

答え

③ 筆算でしましょう。

$$2.5 \times 4 \qquad 0.6 \times 7$$



④ 約分しましょう。

$$\frac{12}{18} =$$

答え

B 図形・量と測定

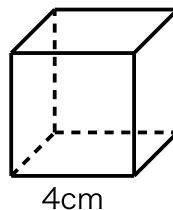
① 2kmは何mですか。

答え

② たて8cm、横12cmの長方形の面積は何 cm^2 ですか。

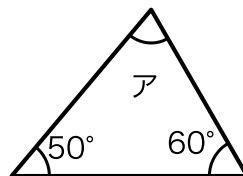
答え

③ 1辺が4cmの立方体です。体積は何 cm^3 ですか。



答え

④ 角アの大きさは何度ですか。



答え

C 変わり方と割合

① 6cmの4倍は何cmですか。

答え

② 15cmのゴムをのばすと45cmになりました。何倍にのびましたか。

答え

③ ぼうの長さや重さは比例します。
長さが7mのとき、重さは何kgですか。

長さ (m)	1	2	3	4
重さ (kg)	4	8	12	16

答え

④ 4mの1.5倍は何mですか。

答え

⑤ みかんが15こ、りんごが6こあります。
みかんの数は、りんごの数の何倍ですか。

答え

こたえ (おもて)

A

① $29 \div 4 = 7$ あまり1

$41 \div 6 = 6$ あまり5

② 6500

③ $2.5 \times 4 = 10$

$0.6 \times 7 = 4.2$

④ $\frac{12}{18} = \frac{2}{3}$

B

① 2000m

② 96cm^2

③ 64cm^3

④ 70度

C

① 24cm

② 3倍

③ 28kg

④ 6m

⑤ 2.5倍

まちがえた問題は
消さずに、赤で書き
なおしましょう。

5年10月1週(2) |
①=3年 ②=4年 ③
から=5年
(Cは⑤まで)

5-10-1-2 v2



まちがいを見つけたら
教えてください

三角形の高さ

図工の時間、立てかんばんに使う三角形の板へ、ペンキをぬることになった。どれだけの量があるかを知るには、板の広さを出さなければならぬ。先生は「三角形の高さが分かれば、広さは出せる。」と言った。

ところが、わたしはとまどった。板はどの辺もななめに見えて、どこが高さなのか決まらない。定規を当ててみたが、はかっているのは辺の長さばかりだった。三角形には辺が三本ある。どれを下にしてもよいのなら、高さも三通りあることになる。そこまで考えて、手が止まった。

同じ班の陸が、板をくるりと回した。「下にした辺が底辺やろ。」下にした辺から、いちばん上のかどまでのまっすぐな長さ。それが高さだと陸は言った。板を回すたびに、底辺も高さも入れかわった。

三通りのやり方ではかって、それぞれ計算してみた。数はどれも同じになった。かけ算の答えが変わらないのだから、たしかにどれでもよいのだ。

高さは、板にはじめからついているものではなかった。どの辺を底辺にするかを決めて、はじめて高さが決まる。わたしは板を三回まわしてから、えんぴつで底辺に線を引いた。

名前

音読サイン

(1) 「とまどった」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア うれしくてはしゃいだ

イ いそいでかたづけ

ウ どうすればよいか分からず迷った

エ ねむくて立っていられなかった

(2) 「わたし」が高さを決められなかったのは、なぜですか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア 定規をわすれたから

イ 板が大きすぎたから

ウ 板のどの辺もななめに見えたから

エ 先生の話聞いていなかったから

(3) 下にした辺のことを何といいますか。文章から二字で書きぬきましょう。

(4) 三角形の高さは、どのようにして決まりますか。文章の言葉を使って書きましょう。

書くときのポイント

「で決まる。」でお知らせる。

「底辺」という言葉を必ず使う。

こたえ (うら)

問1 ウ

問2 ウ

問3 底辺

問4 (例) 板にはじめからついているのではなく、どの辺を底辺にするかを決めることで決まる。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答えとびったり同じなら○。問4は〈どの辺を底辺にするか〉で決まると書けていれば○。

5-10-1-2 v2

5年 物語文